

(こども版) としょかんだより No.248

わくわく本だな 2004年 10月号

富山市立図書館 富山市丸の内1-4-50 電話 076-432-7272

きむら ゆういち
木村 裕一さんの本

「あらしのよるに」シリーズでおなじみの木村さんは、
絵本や童話の作家として活躍しています。
このほかにあかちゃん向けの絵本や工作の本
など、たくさん本を書いています。

「ゆらゆらばしのうえで」(えほん) 福音館書店
うさぎとそれを追いかけるきつねが、一本の丸太橋に
きました。橋の上は、少しでも動くと丸太はかたむいて、
シーソーのようにゆれるのです。

「おおかみ・ゴンノスケの腹ペコ日記」
講談社

で生き別れに



ゴンノスケは、うさぎが大こうぶつ。
でも、何をやってもにげられてばかりで、
うさぎをたべることができません。

今夜は食べほうだい!
うさぎのおいしい食べ方

事件ハンター・マリモ シリーズ 金の星社
小学4年生のマリモが、天才科学者だったお父さんの
残した発明品を使って、事件を解決します。
地下室から愛をこめて
ひみつのケイタイ

あらしのよるに シリーズ (えほん)
講談社

あらしの夜、まっくらな小屋で
出会ったヤギとオオカミのお話。

あらしのよるに
あるはれたひに
くものきれまに
きりのなかで
どしゃぶりのひに
ふぶきのあした



「こぞうのパウのものがたり」1~3
金の星社

こぞうのパウは、山火事

なったお母さんをさがすため、ひとりで
旅にでました。



工作の本

「手作りおもちゃ箱」1~3
ほるぷ出版
「手作りおもちゃのかがかく館」
全12巻
ほるぷ出版

あたらしくはいった本

= 1・2年
= 3・4年
= 5・6年

えほん

「森のかくれが」 下田 智美/作 ブロンズ新社

キノちゃんは、学校の帰りにかならず、森の中の大きな木にたちよります。そこには、クマやネズミ、ウサギ、リスなど、いろんな動物が住んでいました。動物たちとなかよしのキノちゃんは、きょうもみんなの様子をみてまわります。大きな木には、動物たちが楽しく便利にくらせるくふうがいっぱいです。



「ジャイアント・ジョン」 アーノルド・ローベル/作 文化出版局

まほうの森に住んでいるジョンは、心のやさしい男の子。ある日、お母さんが「うちにはもうお金や食べるものがすっかりなくなった」といいました。そこでジョンは仕事を探しに出かけ、りっぱなおしろではたらくことになりました。

ものがたり



「まじよのおいもパーティ」 なとり ちづ/作 童心社

こぐまえんのみんなは、元気よくいもほりに出かけました。畑には、「いもをはんぶんよこせ まじよポテトばば」という立て札が立っていました。みんなは、いもを全部ほりだしてもち帰りますが、まじよ魔女がやってきて、半分よこどりしてしまいます。

「ぼうしやモミノさんとふしぎなほうき」 山本 和子/作 PHP研究所



ある日、ぼうしやのモミノさんが外へでると、ドアのよこにふるぼけたほうきがたてかけてありました。

さっそくそのほうきでそうじをはじめると、とつぜんほうきがおこりだしました。そしてモミノさんのおみせが空をとびはじめたのです。

「宇宙スパイ ウサギ大作戦」 岡田 貴久子/作 理論社

ハルの家のとなりは、「ユーレイやしき」とよばれている空き家でした。ところがある日、まどにピンクのカーテンがかかっていました。ふしぎに思ったハルが、玄関のドアをそっとノックしてみると、中から“ぬいぐるみのウサギ”がでてきました。このウサギ、じつは宇宙からやってきたスパイだったのです。



「オシリカミカミをさがせ！」

リンデルト・クロムハウト / 作

朔



少年ユスの住む町は、この一週間どこも大さわぎ。トイレでおしりをかまれる事件が10回もおきたからです。みんなは、オシリカミカミという名前のばけもののしわざだと言うけれど、すがたを見た人はいません。ユスは、おもいきって下水道へさがしに入ることになりました。

「やっぱり犬がほしい」

スギヤマ カナヨ / 作

アリス館



ぼくは犬が大好きです。犬がほしいと言っても、家族は賛成してくれません。そこでぼくは、毎朝の散歩をさせるために、早おきの練習をしました。それから犬のことを知るために、図書館でたくさんの本を調べました。
- 犬をかいいたくなった時には、まずこの本を読んでみて下さい。 -

「お宝探偵団とわがままミカド」

楠木 誠一郎 / 作

学習研究社

小学5年生の舞の家は、アンティークショップです。ある日お店に、古い剣が持ちこまれました。剣をあずかったパパが、くわしい鑑定をしてもらうために向かった先は宝源寺。ところが、鑑定の最中、舞たちの目の前に剣の持ち主だという少年があらわれたのです。それは、800年以上前に、源平の戦いで死んだ幼い安徳天皇でした。

「スパイダーウィック家の謎 人間、見るべからず」

ホリー・ブラック / 作 文渓堂



ジャレットの家族は、古びたスパイダーウィック屋敷に引っ越してきました。その夜から、毎晩かべの中で奇妙な音がするのです。不思議に思った子どもたちが、家中を調べてみると、天井裏で妖精の秘密が書かれた謎の本を見つけました。

「お父さんのeメール」

奥田 継夫 / 作 ポプラ社



旅行ジャーナリストのお父さんが、2人の息子たちに世界のいろんな都市から写真付きeメールを送ってきます。各国の自然や人々の暮らし、食べ物、動物などとおきの旅の話です。あなたもいっしょに旅する気分を味わってみませんか。

ちしきの本

「日本の食べもの - 地図絵本 - 」

素朴社 / 編刊



わたしたちが住んでいる富山県では、どんな食べものが作られるか知っていますか。富山県は、米のさいばいが最も多いのですが、ぶり、ほたるいかなどの魚もたくさんとれます。

この本では、日本の食べものを都道府県別に、わかりやすくしょうかいしています

どくしょしゅうかん



第58回

読書週間

10月27日(水)~

11月9日(火)

〔標語〕 落ち葉をしおりに、読書の秋

さわやかな秋は、読書にぴったりの季節です。

みなさんも、感動する一冊に出会えるといいですね。



シリーズしゅうかん

「こんにちは たまごにいちゃん」(えほん) あきやま ただし/作 鈴木出版



「ぜったいじぶんでわるんだもん」とがんばっているたまごにいちゃん。でもなかなかからはわれません。ところがある日、大きなからすにおいかけて…。

「タニシのがくげいかい」 阿部 夏丸/作 講談社

ドーナツ1枚のタニシのきょうだいは、らくがきが大きすぎです。

学芸会で、すごい絵を発表しようと、いっしょうけんめい練習をはじめました。



「流れ星レース ドルフィン・エクスプレス」

竹下 文子/作 岩崎書店

会社でテールのしている仕事が、ライバルに取られそうになりました。そこでテールの上司のヒナコさんが考えた、とんでもないことは？

「まじよになりたい」

中島 和子/作 金の星社

年をとってベンチに姿を変えてしまったまじよは、友だちのもえちゃんにまほうを教えることにしました。

さあ、もえちゃんのまじよ修業のはじまりです。



「寿司屋の小太郎 手巻き寿司勝負！」

佐川 芳枝/作 ポプラ社

小太郎のクラスに、南の島から転校生の少年がやってきました。かっこいいうえに、どうやら動物のことばもわかるらしいのです。

10 がつ

おやすみの日

10月1日(金)~10月7日(木)

蔵書点検でおやすみです。

10月11日(月) 10月18日(月)

10月25日(月)